

コープやまぐち奨励賞・学生の部

山口県立大学「ぷち☆スタ」実行委員会

代表者 松岡 優里（子育て分野／山口県立大学）

活動の動機・目的

平成25年8月に「発達障害支援論」の授業の一環として、発達障害の子ども達の夏休みの宿題のサポートをさせていただく機会をいただいた。母親からもお話を聞かせて頂き、子どもたちを取り巻く環境（学校や社会）の課題を知ることができた。「私たちが学生でできることはないか」という思いで、社会福祉学部学生ぷちボランティアスタッフが発起人となり、障害児教育研究室の教授の力をかりて、不登校・発達障害のある児童生徒の学びと出会いの場「ぷち☆スタ」実行委員会を立ち上げた。

目的は①不登校や発達障害のある子どもの学びの場と出会いの場の提供 ②学生が不登校・発達障害のある子どものメンタルフレンド（心の友だち）となるための学びを深めること。

活動の内容

①ぷち☆スタ定例会：発達障害や不登校の子どもの学習支援と余暇支援。

○毎月1回、18時半～20時まで実施。内容は、はじめの会、お勉強（小学生30分／中学生60分）、自由時間（交流、すきな遊び、おやつ）、おわりの会。

○現在13名の小中高高校生が参加。1対1の学習支援。高校入試に向けての過去問題を一緒に解く。高校入学後は提出課題支援。他に中学校の課題ワークの学習支援等。

※子どもの担当学生は固定（学習時）。遊びの時間は学生を交えて参加児童生徒が交流しながら遊ぶ。以前は一人でゲームをしたりと、個々で遊んでいたが、今は皆で鬼ごっこをしたり、子ども同士が年齢をこえて交流するようになった。

②ぷち☆スタ受験生

月曜日～木曜日まで週4回（18時～20時）、受験生や不登校のため授業をうけていない中学生のために学習支援を行っている。現在2名の男子が参加していて、3名の男子学生が担当している。

③ミーティング（ふりかえり）

週1回を基本に集まり、メンタルフレンドになる可能性を探る為の実践をもとにした振り返りを実施。定例会の前週に担当確認と打ち合わせ、次週に振り返りを行う。わからないこと等出し合い、教授が答える。良かった事は共有。ふりかえりを通してよりよい会になるよう心がけている。

④保護者同士が悩みや情報を共有する場の提供

「ぷち☆スタ」の開催時間には、別に保護者の待合室を設けている。保護者同士が悩みや情報を共有する場となっている。担当教授がその輪の中に入り、相談があれば応じている。

⑤講演会「ぷち☆スタお話を聴く会」を主催（2014年12月22日）。⑥研修会に自費で参加。

これからめざしたいこと

子どもを取り巻く問題は多様化しており、その中でいじめや不登校の問題は深刻であり、その対応策が急がれている。また、発達障害の児童生徒の居場所づくりも社会的な課題。これらの社会的課題にチャレンジするために、学生ならではの力を発揮して新たな取り組みの方法を開拓していきたい。不登校・発達障害のある児童生徒への理解を深めるために、カウンセリングや援助技術を高めるための研修会を企画・実施や外部講師をお呼びして、ミニ授業を実施したい。



学習支援の様子



自由時間の様子